

きよさと

No.59
2015.4.25発行
社会福祉法人 清郷会
協和厚生園 日吉厚生園
九十九荘 十倉厚生園
デイとくら・輝
青空保育園
ワークわく・きよさと
TEL0476(93)1535(代)

青空保育園に泳ぐこいのぼり

青空保育園の桜がきれいに咲きました

目次

- 特集『清郷会創立30周年特集』 2~3
- 十倉厚生園/デイとくら・輝
- 『浩養小学校・幼稚園との温かい交流』 4~5
- 日吉厚生園
- 『スポーツ特集』 6~7
- ワークわく・きよさと
- 『忘年会で年忘れ! etc.』 8~9
- 協和厚生園
- 『祝30周年・30年前にタイムスリップ』 10~11
- 九十九荘
- 『季節の行事』 12~13
- 青空保育園
- 『青空保育園の1年間』 14~15
- ご寄付、御礼、職員の動き 16

清郷会のホームページアドレス <http://www.kiyosatokai.or.jp>

ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

車両助成事業報告**中央競馬馬主社会福祉財団:平成26年度助成事業**

このたび「中央競馬馬主社会福祉財団」の助成により、【ワークわく・きよさと】送迎車両として14人乗りマイクロバスを整備することが出来ました。
「中央競馬馬主社会福祉財団」の皆様に謹んで感謝の意を表します。

- 事業名(内容) 14人乗り送迎車両整備:日産キャラバンマイクロバス
- 総事業費 2,928,930円
- 補助費 1,500,000円
- 施設名 ワークわく・きよさと
- 完成 平成27年 1月5日

**日本財団:2014年度助成事業**

このたび「日本財団」の助成により、【ワークわく・きよさと】作業用車両としてパン(軽自動車)を整備することが出来ました。
「日本財団」の皆様に謹んで感謝の意を表します。

- 事業名(内容) パン(軽自動車)作業用車両整備:ホンダアクティバン
- 総事業費 776,910円
- 補助費 520,000円
- 施設名 ワークわく・きよさと
- 完成 平成27年 3月11日

職員の動き

中山 雄一(ワークわく・きよさと)	高橋さくら(青空保育園)	大内香世子(青空保育園)	神内みどり(青空保育園)	龍崎みのり(青空保育園)	嶋田恭子(青空保育園)	相澤寛典(青空保育園)	切無沢恵太(青空保育園)	溝上愛里(青空保育園)	小山皓之(青空保育園)	石井良則(青空保育園)	吉野雅博(青空保育園)	細谷悠介(青空保育園)	後藤(青空保育園)	宮地冬樹(青空保育園)	常世田勝己(青空保育園)	常世田勝己(協和ほつとライフ・きよさと)
															(協和→白吉)	
															(十倉→協和)	
															(十倉→ほつとライフ・きよさと)	

宇佐美彰孝(ワークわく・きよさと)	中川村(青空保育園)	佐藤長谷(青空保育園)	西村(青空保育園)	日色(青空保育園)	伊豆(青空保育園)	富原(青空保育園)	高原(青空保育園)	尾形(青空保育園)	中島(青空保育園)	酒井(青空保育園)	南谷(青空保育園)	黒澤(青空保育園)	小関(青空保育園)	進藤(青空保育園)	宍倉(青空保育園)	保之(青空保育園)
																(法人本部)

新規採用職員

様 様 様 様 様 様 様 様 様

ご寄付・御礼

日吉台小学校PTA

公益財団法人 諸岡報恩会

成田国際空港株式会社
クリスマスフェスティバル実行委員会

十倉厚生園家族会

協和・日吉厚生園家族会

富里市手つなぐ親の会

当時の想い出



開所後まもない頃の園外行事の1コマ。青空の下、皆さんの嬉しそうな表情が印象的です。

三橋常務理事と



当時も今も年間の中でも最大のイベントである地域交流行事「夏祭り」準備にて。車のデザインが当時を連想させます。



竣工披露式にて



今では自慢の緑豊かな園庭も、当時は水はけの悪い砂利でした。利用者・職員総出で整地作業を行いましたが、地盤がコンクリートのように固く、石やコンクリートの破片、ベニヤ板などが埋まっており、非常に大変な作業だったそうです。



お田植祭と収穫祭の様子。今でこそ田植えには機械を使っていますが、当時は全員総出で田植えを行っていました。職員も含めて全てが初めての体験だったそうですが、皆さん非常に活き活きとしています。

あとがき

30年と言えば、成人に例えるならば家庭を持ち、次の世代を育成する年齢です。当法人も同様に、特別養護老人ホームや青空保育園の運営、就労移行支援の為のワークわく・きよさとの設立、グループホーム事業の展開など、決して緩やかではない時代の変化やニーズに対応できるよう、日々模索しながら次世代に続く取り組みを行っています。そして文字通り「0歳から100歳まで」の言葉を胸に、今以上の地域福祉の発展に貢献していきたいと考えております。

社会福祉法人 清郷会 創立30周年

昭和61年、成田・富里地区の障害者福祉発展の為、社会福祉法人清郷会が設立され今年で30年目を迎えることとなりました。

地域に根差した福祉を目指し、「共に笑い、共に羽ばたく」を理念に掲げ、利用者・職員が一丸となり、日々努力をしてまいりました。今日に至る事が出来たのは地域住民の方々並びに御家族の方々の大いなる御理解・御協力を頂いた賜物であり、深く感謝しております。

今回は当時の写真と共に、現在、そして未来の清郷会の展望を交えて振り返ってみたいと思います。

三十年を振り返る

社会福祉法人清郷会が設立され早くも三十年の歳月が経過しました。この間富里市及び地域の人々の温かいご支援、ご協力に対し心より感謝お礼申し上げます。

法人開設は障害者支援施設（旧名では知的障害者更生施設）協和厚生園よりスタートし、利用者五十名、職員二十六名、今でもその内五名が在職し頑張っています。しかし三十年の時間の経過と共に、私も今年で七十の高齢者になってしましました。地域ニーズに対応した施設整備を目標とし、現在は0歳から100歳までの人々に利用していただき、施設定員も今年度中に六百六十六名、職員二百八十七名の大所帯となってしましました。この間社会福祉施設の運営は大きく変化し、私など昭和四十年時代の福祉理念ではとても追隨することはできず取り残されることがあります。特に介護施設などは社会福祉法人ではなく、NPO、株式会社などの発想で対応する必要があります。しかし、廃業したコンビニが高齢者のデイサービスとなり、一年運営した後、中古車販売所となつており、しかも同じ人が経営するという事実もあり驚かざるを得ません。介護事業は営利事業ではないはずがどう考えても理解できません。

福祉の仕事に従事し四十五年の歳月がつい昨日のように思えます。自分なりに努力した結果がこれで良いのかと迷う日々もあります。三十年前に開設した協和厚生園は、当時としては最高レベルの建物で、同時に県内初の機能訓練棟、家庭指導棟を整備しました。居住棟は一室四名、一千二百m²、この基準は昭和六十年代には居室面積一人三・三m²であります。現在では九・九m²個室、総面積も二千五百m²前後となりました。建物耐用年数からすると、あと十年で協和厚生園の全面改築が必要となります。国庫、市町村助成もほとんど無くなつた現在、この移転改築をどのようにするか今から準備する必要があります。

そんな悩み多き日々、青空保育園に行きグラウンドの除草をしていると「おじちゃん何やってんの?」と寄り添ってくれる園児の愛らしさは言葉では表現できないものです。三月十四日の卒園式では園児、父兄、職員が涙を流し、今年で四回目の旅立ちを祝うことになりました。戦争が終え一ヶ月後にこの世に生を受けた私は、三度の食事を得ることが大変な時代で、保育園、幼稚園などもなく学校に入学するまで、どのように過ごしたのか確かな記憶がありません。園児が野外で大声を出し元気よく遊び、高齢者が家族や地域社会の人々と触れ合い、障害者が社会の一員として認め合える、支援する職員が笑顔で活力のある、利用者が主役の法人、そして施設運営をすることが私に課せられた責務と思い、七十の老人に鞭打つてあと一二、三年は頑張りたいものだと思う昨今です。

常務理事 三橋輝男

きよさと十倉厚生園/デイとくら・輝



当時の思い出を振り返って

浩養小学校卒業生 篠原 幹

15年前に、浩養小学校の児童として十倉厚生園の利用者と交流を持ち、芋掘りを行っていたことが記憶に残っています。帰宅の際には、芋を掘りすぎて袋が重く手が痛くなり非常に苦労しながら帰っていた覚えがあります。来年は少し控えめに掘ろうと思っていても翌年には忘れていて、結局同じ思いをしながら帰っていました。

当時は、十倉厚生園で働くとは思っていませんでした。十倉厚生園で働いてみてなんなくですが、記憶が蘇ってくることもあります。

現在私自身が職員となり、浩養小学校の児童と交流を持ち、この中から、新たに十倉厚生園で働いてくれる子がいると良いなと思いつかっています。



浩養小学校とのエピソード

浩養小学校交流担当 菊本 雅博

浩養小学校と十倉厚生園の交流は、前任の加藤主任が窓口として始まり、16年以上続いています。1年間に浩養小学校・浩養幼稚園と交流する行事は、今や10回以上あります。数多くの行事の中で利用者の方々と生徒達は交流を深めています。サツマイモ掘りでは共にサツマイモを探ったり、スポーツ交流ではドッジボールや風船バレーを行ったりと、楽しい行事を行っています。中でも印象に残る行事が、浩養小学校の運動会で生徒と協力して走るデカパンリレーです。大きいパンツの中に利用者1名、生徒2名と一緒に走り、競争する競技なのですが、生徒たちは利用者の方がデカパンを履きやすいように手を貸してくれたり、デカパンを抑えてくれたり、走っている時には3人で肩を組んで走る等、一体感を感じる競技です。利用者の方と生徒達の中で「頑張りましょうね」、「楽しかったですね」という言葉のやり取りを聞くと大変うれしく思います。

これから施設は、地域の1つの資源として役割を果たしていかなければいけない時代です。十倉厚生園は地域密着型の施設として、これからも地域に根をはり、地域と共に生活していく施設でありたいです。

浩養小学校・幼稚園との温かい交流

十倉厚生園から徒歩15分程の距離にある《浩養小学校・浩養幼稚園》との交流が、十倉厚生園開所の平成11年から始まり、今年の4月で、早くも17年目を迎えようとしています。地域の皆様方からは、ご理解とご協力を頂くだけではなく、素敵な『思い出』と『出会い』も頂きました。

《年間の交流》

	十倉厚生園にて	浩養小学校にて
5月	・さつまいもの苗植え	
6月		・交流会
7月	・十倉厚生園で作業体験	
9月		・運動会予行練習 ・運動会
10月	・サツマイモの収穫 ・レクリエーション大会 ・収穫祭参加	・浩養小バザー参加
11月		・マラソン納会
12月		・スポーツ交流会 ・交流レクリエーション大会
3月		・6年生を送る会

今回、浩養小学校との交流の始まりについて原稿依頼があった。16年前の記憶が蘇るか、必死に思い返しつづけた。開所してすぐに起きた出来事が始まりで、利用者の受け入れ準備を整え、最初のメンバーを受け入れた4月6日、引継ぎの終わった御家族が帰った後の2時間位経った頃に利用者が無断外出し、近くの商店に飛び込んでお菓子を食べ散らかしてしまった。園の周囲の柵の高さを3m位にして出られないようにしなさい。。。それはちょっと。。。四方の柵に有刺鉄線を張り、様子を見てもらうことでの場は何とか治まったが、この事がきっかけで、地域の方たちに理解をして頂くことの必要性を強く感じた。その方策の一つとして、小学校の児童との交流を通じて地域社会への理解が図れないかと考え、まず児童の皆さんを芋ほりへ招待したい旨の相談を行い、秋の運動会へ来賓としての招待(2年後には利用者の参加も可能に)、そして、初めての芋収穫の実現へと、この一連の流れは園の働きかけだけで実現できた訳ではないことは言うまでもない。当時、真っ先に十倉厚生園と児童の交流に理解をしててくれ、そのことを校長先生に直談判してくれたS先生、そしてそれを受け入れてくれたW校長先生のおかげであり、私は今でもお二人には感謝の気持ちを持ち続けている。

あれから16年、交流の内容や形はその時々ではあるが、今も続けていられる事に歴代の校長先生や先生方も感謝の気持ちを表すと共に、これからも更に積み重ねて行けることを強く望んでいるところである。

浩養小学校との交流は、子ども達を中心とした取り組みです。各学年の交流会の計画や準備は子ども達の自主的な活動として「もてなそう、楽しんでもらおう」と一生懸命に取り組んでいます。交流会の後は、「十倉厚生園と交流して」と子ども達自身が活動振り返り、絵や作文などに表現しています。その作品では、子ども達のコミュニケーション力と心の成長を強く感じることが出来ます。今後も子ども達の人間関係づくり、地域の一員としての意識を高める交流を進めていきたいと思います。そして、子ども達の交流した時の思いや気付きを発表する場を設けて、子ども達の言葉で十倉厚生園の皆さんに直接伝えることが出来るとよいと思っています。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

浩養小学校 校長 深澤陽子

浩養小学校とのはじめの一歩

十倉厚生園 園長 三木 康雄

日吉厚生病院 スポーツ特集!!

ソフトボール



自指せホームラン★

絶対勝つぞ！

A
Aグループでは大会にむけ、各種目の専門的技術の向上を目的としソフトボール、フライングディスク等を中心に活動を行っています。昨年度は9月にソフトボール、10月にフライングディスクの大会がありました。大会に向けて日々頑張っています。

サッカー



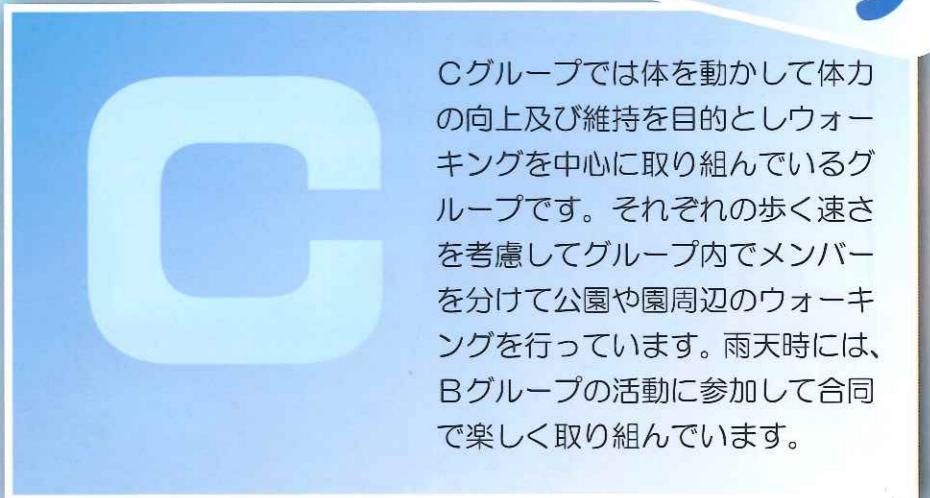
バスバス♪

B
Bグループでは個人の能力に合わせた各種目の専門的技術の向上を目的とし、様々なスポーツを通して活動の幅を広げています。各グループの中で一番多くの種目に取り組んでおり、過去にはドッヂボールやサークット運動、そして今月は4つのグループに分かれ、園庭にてサッカーを行いました。



シート染めるぞ！

ウォーキング



Cグループでは体を動かして体力の向上及び維持を目的としウォーキングを中心に取り組んでいるグループです。それぞれの歩く速さを考慮してグループ内でメンバーを分けて公園や園周辺のウォーキングを行っています。雨天時には、Bグループの活動に参加して合同で楽しく取り組んでいます。



あたたかくて
気持ち良いね♪



今回は毎週火曜日の午前の活動で行われているスポーツを紹介します。利用者の方々もスポーツの活動を楽しみにされている方が多く、よく「今日は何やるの?」「職員は誰が一緒?」と尋ねてくれます。スポーツ活動は体を動かす楽しみを感じながら体力の向上及び維持と心身のリフレッシュを図ることを目的に行っています。普段はA、B、Cの3つのグループに分かれ、月ごとにスポーツの内容を変えて取り組んでいます。また、年に2回全体で行うスポーツ大会があり、4つのチームに分けて対抗戦を行っています。今回の記事では、3つのグループと3月の活動をそれぞれ紹介したいと思います。

ワークわく・きよさと

防災訓練



新任職員紹介

今年の一月よりワークわく・きよさとへ配属になった宇佐見彰孝です。以前はトラックの運転手を勤めており、福祉業界は初めてなので右も左も分かりませんでしたが、早いものでもう一ヶ月程経ちました。まだまだ支援は手探り状態で至らない事ばかりなのですが幸いにも心優しい上司や先輩達に恵まれており、もっともっと頑張って早く一人前に成りたいという気持ちでいっぱいです。どうぞよろしくお願ひします。



今回の防災訓練では、利用者さんに消化の訓練をしていただきました。初めて行ったという方々もいらっしゃった様子でしたので、良い経験になつたかと思われます。よくドラマ等で見る消火器は見ていると軽くて扱い易いと思われますが、実際は重くて使いづらいのです(泣)。なかなか使わない物ではありますましたが、皆さん手順通り行っており、素晴らしいですね。Sさん..はい。

職...午後の作業が始まる時間ですのでここまでですね。皆さんありがとうございました。

以上です。また利用者さんと対談する機会がありましたら広報やWEBサイトで更新していきたいと思います。

ワークわく・きよさと 黒澤



忘年会・送る会



昨年の忘年会は、退職する職員の送る会としても開催されました。ガーデンホテル成田にて昼食ブッフェを頂きましたが、道中ではバス・電車と公共交通機関を利用し移動をしました。そして今回はワークわく・きよさと広報誌初の利用者さんとの対談形式でお届けしたいと思います。昼休憩時の十五分程のやり取りではありました、利用者の皆さんのが、それぞれの思いをもつて忘年会兼送る会に参加していた事が分かりました。(以下職員は「職」利用者さんは「ー」シャールにて表記致します。)

職...ではこれから忘年会の話をしたいと思います。何か感想はありますか?

Nさん..感想としては本当に素敵な忘年会でした。

職...他の皆さんはどうでしたか?Nさん(退職した職員)の送る会でもありました。

ーさん..Nさんがいなのは寂しいけど、縄の結び方を覚える事ができたから見てほしいです。

職...そうですか。確かに寂しいですね。でも寂しいだけではNさんの為にもならないのです。これからも頑張らないといけないです。

利用者さん全員..はい。

Sさん..忘年会は楽しかったけど寂しかった。でもNさんの為に頑張ります。

職...ホテルのブッフェはどうでしたか?

利用者さん全員..楽しかった!

Hさん..楽しかったけど:司会は緊張しました。

Hさん..何処が緊張しました?

Hさん..全部!

職...司会は会場の流れを把握しておかないといけないですからね。でもそのスキルは就職した後にも使用すると思うので忘れないようにしていきたいですね。他にはありますか?

Kさん..黒澤さん(記事作成者)はどうでした?

職...楽しかったですし、美味しかったですね。あとは移動に電車とバスを使用しましたけど、どうでしたか?

ーさん..Sさん..良かつた。

職...何がよかつたですか?

Sさん..お金の使い方と、切符の買い方を覚えることができました。

職...今後仕事でバスや電車を乗ることがあるかもしれませんので、覚えておいて忘れないようにしましょうね。あとはお金の使い方を誤らない様にしていきたいですね。

Sさん..はい。

職...午後の作業が始まる時間ですのでここまでですね。皆さんありがとうございました。

以上です。また利用者さんと対談する機会がありましたら広報やWEBサイトで更新していきたいと思います。



設立当初から今現在も元気に活躍している利用者は、男性20名女性15名の35名です。

利用者のコメント：質問「一番の思い出は何ですか？」



「お田植え祭」さあ～皆で今年の収穫をお祈りして…

湯浅 栄治さん（81歳）開設当初51歳
「池田先生と行ったハワイは楽しかった！」

矢口 吉積さん（73歳）開設当初43歳
「朝早くて大変だったけど、飛行機に乗って宏昭さんと行ったハワイが楽しかったなあ～♪」



池田 ヨキ子さん（70歳）開設当初40歳
「池田先生と一緒に行ったハワイや、大竹さんと一緒に歩き、運動会の綱引つ張り（綱引き）が一番の思い出です」



「運動会」皆全速力で走ってる！！



「歩き」皆で良く歩ました=)

皆さん、とても海外旅行が楽しかったようですね！今でも会話の中でハワイの話が出て来る程です！



『30年前の主なニュース』

- *ソ連のチェルノブイリ原発事故
- *イギリスのチャールズ皇太子とダイアナ妃の来日
- *伊豆大島の三原山大噴火発生

『時事語録・流行語・ヒット商品』

- *究極・激辛・新人類・レンズ付きカメラ「写るんです」



古き良き時代

協和厚生園初30周年 30年前にタイムスリップ

30年前…そう、あの頃は確か…



共に笑い、共に羽ばたく

昭和61年4月協和厚生園が設立され、清郷会の支援基本方針「共生・自己選択・自己決定・自立」に基づきスタートして以来、国の施策に振り回されながらも、地域の方々のご理解とご協力を得て、30年目を迎える事が出来ました。

九十九荘

わくわくチョコレート作り



千ヨツ作りはどこも楽しめました。
千ヨツ作り面白かったです。
千人一首でやっこ、最初は私がつまひ
マロを串に刺して、最初の形を作り
ました。
私は不器用でお手伝いみたいなもの
だったけど、一緒に作れて楽しかつ
たし、千ヨツもおいしかったです。

写真中央 鈴木 静江さん

私は皆で何を作りたいあることが
好きです。千ヨツ作りのほかにも、
九十九荘で切り絵を作ったり、縫い
物をしたいあることにも全部参加し
ています。

今回の千ヨツ作りは初めてのこと
で、とても楽しかったです。皆で何
かを作ることができる行事が大好き
です。

写真右 中村 なみさん

私は手が震えるから、千ヨツも溶か
すことなく、こぼれないようボーレー
を抑えたり、トッピングをつけるこ
とも手伝いました。
全部作り終わって、ここに職員さん
に千ヨツを渡して、喜んでもらえた
ことが私の幸せです。



今回の九十九荘の特集では、初の試みと
なる、バレンタインチョコ作りと、
豆まきの様子を紹介したいと思います。
ご覧ください。

「バレンタインデー」ついで、「豆まき」。利用者がうの一言
がきっかけで始まった今回の千ヨツ作り。人生初の千ヨツ
作りは、「難しぃ・・・」と言っていた利用者も、一
緒に行うことでの信が持てるまでになりました。
また、手についた千ヨツを、「味見だー」と舐めている様
子は、まるで子供のようおどろきの笑顔でした。
ラッピングした千ヨツは女性職員へ、余った千ヨツをおみや
げで渡きました。利用者も職員も楽しい時間を過ごしました。
ありがとうございました。



職員 中野 瑞也



豆まき写真館

福は内！ 鬼は外！

うわーやられたー

節分

9月 稲刈り おいしいお米できたかな？ 10月 頑張っておいも掘るぞー！



坂田ヶ池総合公園（3歳児）

ゆめ牧場（4歳児）

10月 千葉市動物公園（5歳児）



子どもたちは運動会に向かってまっしぐら。リズムに合わせて、思い思いに体を動かして元気に競技に参加しました。11月は、気持ちの良い中、バスに乗って自然といっぱい触れ合える遠足に出掛けました。3歳児（ばんだ組）は坂田ヶ池総合公園、4歳児（きりん組）は成田ゆめ牧場、5歳児（らいおん組）は千葉市動物公園に行きました。また、秋の収穫物は、さつまいも、くり、柿と沢山あります。園で育てた野菜を子どもたちが収穫し、みんなで食べて美味しさを共有します。旬の味覚を存分に味わい、食べることの楽しさを感じていました。

秋

2月 豆まき



3月 卒園式



鬼に立ち向かって鬼退治！！



節分には、豆まきをしました。「鬼は外、福は内」と大きな声で言ながら、豆をまいていると…赤鬼と青鬼の登場に子どもたちは大騒ぎ！！怖がったり泣いたりしながらも、みんなで力を合わせて鬼を追い払いました。みんなの中にいる弱虫鬼、泣き虫鬼も元気な掛け声に大慌てで逃げていきました。そして、進級・進学を控えた子どもたち。自然に小さな友達と手をつなぐ姿も見られるようになりました。卒園式では、早く小学生になりたいという気持ちが芽生え、期待を膨らませ、立派に保育園を卒業っていました。

冬

一年間を通して

子どもたちは、集団生活で友達と関わり、様々な行事を経験して大きく成長しました。生活や遊びを通して、泣いたり、笑ったり、日々沢山のことを学び、心も体もたくましく育ちました。また、一人ひとりの姿や子ども同士の関わりで様々な表情が見られました。園生活での経験全てが子どもたちにとって大きな成長の糧となります。保護者と離れ、新しい仲間や先生と出会い、楽しい園生活になるよう、今後も子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

青空保育園の一年間

4月 入園式



5月 こいのぼり



みんなで食べるとおいしいね！！



5月 芋苗植え



おいも楽しみだな！



お外遊び、大好き！！



青空保育園、平成26年度最初の行事は全園児参加の入園進級式。在園のお友達が歓迎の言葉や歌で明るく迎え入れ、保育園生活がスタートしました。5月に入ると園庭で遊ぶ子どもたちの頭上に色とりどりのこいのぼりが泳ぎました。子どもの日にはこいのぼりの下で青空給食が開催され、子どもたちの楽しい笑い声が園庭いっぱいに響き渡りました。また食育では畑に足を運び芋苗植えを行い、秋の収穫を楽しみにしていました。土に触れている子どもたちはとても生き生きとした表情を見せてくれました。

春

7月 プール



プール楽しいな！！



8月 すいか割り



ダイナミックに泥んこ遊び！！



ちょうちょみつけた！！



8月 夏野菜カレーパーティー



夏

夏には各クラスでプール開きを行い、お気に入りの水着に着替えてプールに入りました。玩具を沈めて宝探しをしたり、お魚釣りを楽しみました。砂場に水たまり作りを行い泥んこ遊びはとってもダイナミック！！また、お日様をいっぱい浴びた畠の野菜はとっても甘く、夏野菜パーティーは子どもたちの大好きな行事の一つです。野菜たっぷりのカレーを次々におかわりしました。子どもたちは保育園の美味しい野菜を食べて成長していきます。